

学校防災備蓄倉庫棚卸・レイアウト構成作業について

学校防災備蓄倉庫内の備蓄物品の状況を精緻に把握するとともに、迅速かつ円滑に活用できるよう、棚卸とレイアウト構成作業を行う。また、この作業を契機に中長期的には災害時、備蓄物品をはじめとする物資が円滑に避難者に行き届くよう物流ネットワークの構築を目指す。

1 作業の目的

- (1) 総合防災システムと連携した備蓄物品の維持管理
- (2) 棚卸・レイアウトの再構成、環境整備による利便性の向上

2 作業の実施計画（91箇所3か年で実施）

令和5年度 40箇所

令和6年度 40箇所

令和7年度 11箇所

3 備蓄物品の管理供給に関する今後の展開

- (1) 短期的構想：棚卸・レイアウト構成作業（令和5年度～令和7年度）
- (2) 中期的構想：学校防災備蓄倉庫と地区備蓄倉庫との補完関係の具体化
- (3) 長期的構想：災害時物流を担う関係団体との具体的な運用計画を策定

4 令和5年度のスケジュール

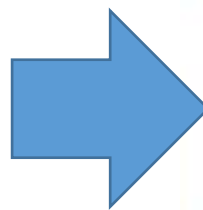
6月中旬～7月下旬 自治会・町会長及び学校長に対する説明

7月下旬 作業開始（令和6年2月末までに40箇所を作業）

▼事前



▼事後



環境整備の例

（視認性の高いレイアウト図の掲出）